

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：河東地区	開催日時：令和7年5月13日（火） 18時00分 ～ 19時40分
担当班：第2班（出席議員） 長郷潤一郎、平田久美、高梨 浩、原田俊広、清川雅史議長	
開催場所：河東公民館	
参加人数：男性 5名、女性 0名、合計 5名（この他、自治体等傍聴者 3名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について ごみ処理有料化、学校給食費無償化と少子化対策への市の対応について意見が多く出された。また、防災庁やデジタル庁の誘致に関する議会での議論について質問があった。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 道路工事への要望に対する市の対応について、複数年にわたって少しずつ工事していることへの疑問や、県立病院跡地の現状と当該跡地への高齢者施設の建設要望が出された。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 地域づくりについて ② テーマ設定の理由、背景 河東地域づくり委員会による取組が行われているが、現在のビジョンは令和7年度までとなっており、新しいビジョンの策定が行われている中で、これまで明らかになった課題を整理することが重要と考えたため。 ③ 主な地域課題 河東公民館の老朽化に伴う今後の施設整備の課題、地域づくり委員会の組織運営や地域防災への課題整理の仕方等について意見が出された。	

会津若松市議会議長 様

令和7年5月21日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第2班 代表者 長郷潤一郎

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ごみ処理有料化について、市は会津稽古堂で説明していたが、なぜ湊、河東、北会津でも説明しないのか。講師を呼ぶのに費用がかかるからという理由らしいが、それでよいのか。道路や他の施策では様々なマルチメディアも利用しているのに、ごみ処理の方法が変わるといふ大事な問題で、多くの市民に知らせたり意見を聞いたりする必要があるのに、マルチメディアを利用してその他3か所でも映像と音声を流すなどの方法もあったのになぜやらなかったのか。	ごみ減量化という大事な問題なので、おっしゃるとおりインターネット配信やマルチメディアを利用して配信する方法もあったと考える。市にはそのような提案があったと伝える。	○	①		環境
議会では、防災庁、デジタル庁の誘致への要望書の提出についての提案や意見交換があったのか。	市内の団体から市に対し、誘致の要望や発言があったことは聞いているが、会津若松市議会では、そのような要望について、提案や意見交換は行われていない。	●	①		まちづくり
会津若松市は何でも後手になっている。例えば少子化対策や学校給食費の無償化についても、選挙で市長が公約したのにまだできていない。少子化対策は本当に深刻だ。国や県が行うのを待っているだけでは市長はいらない。具体的な少子化対策を市民に分かりやすくしていくべきだ。	学校給食費の無償化については、その他の子育て支援策とともに、貴重な財源でどのような施策を行うかを各議員が活発に提案し議論している。具体的な施策では違いがあっても、子育て支援を強めるべきということでは議員の考えは一致している。	○	①		学校給食
地区区長会では、6月から8月の間に、市の環境共生課と区長で、ごみ処理の有料化についての意見交換を行いたいと話があったが、区長だけではなく、地域住民を対象にした説明会は現段階で考えていないのか。	ごみ処理の有料化については令和7年2月定例会議で条例の一部改正が議決され、令和8年4月からの有料化についての大枠が決まっただけで、詳細な内容を検討している段階だと聞いている。 詳細な部分まで決めて「ガイドブック」を作成した段階で、地域住民などを対象にした出前講座を開催したいと考えているようだ。	○	①		環境
地域からの出前講座の依頼を待っているのではなく、市が主導で会場と時間を設定したので、聞きに来てほしい、ぜひ話を聞きたいという姿勢が大事ではないのか。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ごみ処理の有料化について、市のホームページでパブリックコメントを見たが、45もの様々な意見が寄せられていた。 ごみ袋の料金は、会津坂下町では大袋が1枚50円なのに、会津若松市は40リットルが1枚80円となっている。どうして80円に決まったのか、適当に決めているのではないのか。 詳しい内容を決めてガイドブックが完成してから説明するのではなくて、決める前に市民の声を聞くことが大事なのではないか。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境
市議会議員が令和6年12月定例議会と令和7年2月定例会議で道路の安全の問題を質問したが、どちらも未処理が37～38件と同じ数字の答弁でまったく変わっていない。道路に関する要望は約700件あると言われるが、どうなっているのか。 特定の場所の工事に何年もかかり、費用と時間だけかけて工事が進まないのではないか。	議会の建設委員会としては、各地区から挙がっている要望はなるべく早く対応する必要があると考えている。工事の諸経費率は1年だけでも、何年かに分けて工事をして基本的には変わらない。 市は要望のあった工事の緊急性・必要性を点数化して判断しているが、河東、湊、北会津、神指などの地区は、交通量や人家連担等の関係で点数が低くなり、この地域の要望は後回しになってしまう。 建設委員会としては、そのような地域からの要望についても、少しずつでも早く対応すべきであると考えているため、市のそのような対応は必要であると考えている。	○	①		道路
会津若松市北柳原地区における、会津大学から県道北山線に抜ける踏切のある道路について、数年前から要望が挙がっているが、J R 東日本が了承しないため話が進まない。数年前には「担当課に言っておく」と回答があっただけで、その後まったく変わらない。少しでも話が進むようお願いしたい。	民有地、J R 東日本との関係があるので、市として今の段階でどう考えているのか確認したい。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P7に記載)	道路

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
県立病院跡地の現在の進捗状況はどうなっているのか。	県立病院跡地は市が購入し、市の所有になっている。どのように活用していくのかについては、「基本計画」ができた後に議会に説明され、タウンミーティング等で市民にも説明されているが、子育て支援を中心にした多世代交流施設と収益施設を建設するという計画である。 令和7年度は、公共施設である多世代交流施設について、委託企業を公募・決定し、令和10年供用開始を目途に具体的準備が開始されようとしている状況にある。	○	①		まちづくり
高齢者は、お金がなければ施設に入れない状況にある。県立病院跡地に高齢者の施設も建ててほしい。	貴重なご意見として伺う。	○	③		まちづくり

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくりについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	テーマである「地域づくりについて」の問題提起。 地域づくりビジョンを作って、熱心な議論や取組が行われており、「集落点検結果報告」も読ませていただいたが、この取組で明らかになった教訓や課題、問題点、要望などみなさんの率直な意見を出していただき、意見交換していきたい。			
河東の地域づくりの中心である河東公民館は、老朽化であらゆる更新が必要となっているが、費用がかかるため更新計画がない。今後どうするのか計画を示していただきたい。 また、河東環境改善センターの入浴施設は、ボイラーが壊れており入浴できないため、利用できるようにしていただきたい。	北会津も同じような状況である。市は公共施設についての計画はあるが、今後、全部の施設を具体的にどのようにしていくのかまでは決まっていない。 市は公共施設総合管理計画を作っており、「公共施設マネジメント」で全部の建物の診断・評価をしている。全てを新しいものにしようとするとならば数千億円も必要となり、全部の施設を更新するのは無理だと考えている。 その中でも、地区の方々がどうしても必要な施設はあるので、どのような方法があるのか検討しているところだと考えている。ぜひみなさんの声を市に寄せていただきたい。	○	①	
公民館では特に音響設備が悪くなっている。昭和36年に購入したアンプを使っているが、壊れて使い物にならない状態なので、早急に改善していただきたい。	要望としてお聞きした。 必要な施設は、統合や複合施設化も含めて現在検討されている。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくりについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
まちづくり委員会は3つの部会に分かれて、約90人の会員がいるが、会合に出席するのは約3分の1ぐらいで、各部会10人程度しか出席しない。支所のまちづくり推進グループとのコミュニケーションがうまくいっていないのではないかな。 夏休み前に行った、ごみをなくそうという取組では、まちづくり委員会は5～6人で、まちづくり推進グループの職員は11人もいたが、なかなかうまくいかない。	貴重なご意見として伺う。	○	②	
河東学園は県内トップを目指して義務教育学校にしたが、学力でもスポーツでも目立っていないので、統合の意味がないのではないかな。	今の意見は教育委員会の方に伝えておくが、様々な試行錯誤が行われており、取り組んでいるところだと思うので、長い目で見ていく必要があると考えている。議会としてもこれからの取組に注目している。	○	①	
まちづくり委員会の中で、私は総務部会に所属しているが、メインテーマである防災関係以外は、まちづくりの議題が検討されていない。それが地域づくり委員会の目的なのかどうかは難しいところだと思う。地域づくり委員会の本来の立ち位置とは違うのではないかなと思う。 まちづくり委員会の在り方の再構築が必要ではないかなと思う。部会で市役所の考えた個別のテーマで進めるのではなく、委員会全体でまちの将来をどうするのか、地域づくりという大きなテーマで考えていくべきではないかなと思う。	貴重なご意見として伺う。	○	②	

市民との意見交換会・事後処理報告書

河東 地区

件名	処理（対応）内容	備考
1. 下柳原地内磐越西線踏切に係る道路の改修について（P 3）	【市民からの要望・質問】 会津若松市北柳原地区における、会津大学から県道北山線に抜ける踏切のある道路について、数年前から要望が挙がっているが、ＪＲ東日本が了承しないから話が進まない。数年前には「担当課に言うておく」と回答があっただけで、その後まったく変わらない。少しでも話が進むようにお願いしたい。 【事後処理結果】 5月20日に都市計画課長に状況を確認したところ、平成27年当時の北柳原地区からの同様の要望に対して、平成27年9月7日に一箕地区区長会に回答している。その回答の内容は、「要望のあった北柳原地区の踏切を通過する市道一箕3-23号線については、現道部分の拡幅や、大学前道路から直線で結ぶルート等を検討し、主要地方道北山会津若松線の国道49号との交差点の渋滞緩和と狭隘区間の改善のため、県にバイパスとしての整備を要望しているが、事業化は難しい状況にある。 今後については、鉄道の線路を横断することには様々な問題があることから、現時点での早急な整備は困難であると考えているが、現道部分の拡幅や、大学前道路から直線で結ぶルート等について関係機関と協議したいと考えている」というものであり、現在もその方針は変わっていないとのこと。	

会津若松市議会議長 様

令和7年5月21日

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第2班 代表者 長郷潤一郎